

県⇔国 目標の相関図

第3次千葉県住生活
基本計画(案)

目標1
豊かな地域社会
の実現

第2次千葉県住
生活基本計画

目標1
豊かな地域社会
の実現

住生活基本計画(全国計画)の見直し(案)

目標2
良質な住宅ストック
の形成と活用の推
進

目標1 良質な住宅ストックの形成及び将来世代への継承
○住宅ストックのマネジメント・システムを確立し、将来世代に継承で
きる良質な住宅ストックを形成する。
①既存住宅ストックの維持と質の向上
②既存住宅ストックの活用
③不良な住宅等の除却・再生

目標3
居住ニーズが適切
に実現される住宅
市場の環境整備

目標2 ライフスタイルやライフステージに応じた多様な居住
ニーズの実現
○既存住宅や賃貸住宅を含む住まいの多様な選択肢の中から、国
民それぞれが、住む場所も含め、ライフスタイルやライフステー
ジに応じたものを選び取りやすい環境を整備し、居住ニーズと住宅ス
トックのミスマッチの解消を目指す。
○ライフスタイルやライフステージに応じて必要となる多様な住生活
に関連するサービスを楽しむ環境を整備する。

目標4
住宅セーフティネッ
トの確保

目標3 住宅の確保に特に配慮を要する者の居住の安定の
確保
○公的賃貸住宅と民間賃貸住宅の適切な役割分担の下、低額所得
者、被災者、高齢者、障害者、ひとり親、多子世帯を含む子どもを育
成する家庭、外国人、ホームレス等の住宅の確保に特に配慮を要す
る者が住宅を確保できるよう、重層的かつ柔軟な住宅セーフティネッ
トを構築する。

目標5
良好な居住環境
の形成

目標4 良好な居住環境の形成による地域の価値の向上と
豊かなコミュニティの形成
○自然災害等からの安全が確保されるとともに、利便性が高く、また、
住民が地域の自然、歴史、文化に誇りと愛着を持ちつつ、多世代が
交流して豊かに暮らすことのできる居住環境を形成し、地域の価値の
向上を図る。

